



土木科生徒による出前授業（地域連携・外部発信）

令和2年1月8日（水）土木科の、課題研究班が日頃の研究（防災）成果について地域の中学（新潟市立小新中学校）の生徒に出前授業を行いました。

【講義の概要】

- 1 防災についての研究発表（自助・共助・互助について）（防災ロボットについて）
- 2 クロスロードゲーム（2問のクイズを通して）



【土木科紹介】



【防災事例について調査説明】



【中学生の意見をボードに記入】



【クロスロードゲーム補助】



【多数派少数派の整理】



【中学校生徒代表の挨拶】

【中学生の感想】

- ・ 工業高校のみなさんがわかりやすく丁寧に教えてくれたのでしっかり理解できた。
- ・ クロスロードゲームを通して同じYESであっても見方が違って面白かった。
- ・ 少数派の意見の人を「人が見落としているところを見ている人」ととらえるのは良いことだと思った。
- ・ 日頃から防災について意識の高い人は少数だと思うのでこういう活動を続けて欲しい。
- ・ 今回の出前授業は、自分の知らないことが知れて改めて防災について思い出させてくれるいい機会だったと思います。
- ・ 世界で起きている地震の20%日本だという事に驚きました。また、防災グッズの話聞いて我が家でも準備しようと思いました。

【高校生の感想】

- ・ 中学生に伝える内容に直し、細かくわかりやすいよう説明した。ゆっくり話すように意識した。
- ・ 人とのコミュニケーションを上手くとれたことが自分の中の成長だと思います。今回の授業も防災班のメンバーと連携を取りながらできたと思いました。
- ・ 今回の発表で声の大きさとパワーポイントはとても良くできていたと思います。
- ・ はじめて中学生と触れあうことができとても良い経験になりました。人前で発表することの難しさを知ることができた。
- ・ 中学生に教えるので同年代に教えるときとは違うので言い方や教え方を工夫した。

